



金光寺寺報
 第204号
 発行所 金光寺
 宮崎県西臼杵郡
 五ヶ瀬町大字鞍岡
 5927番地
 ☎ 0982
 83-2338

▲ 五月中旬が見ごろでしたドウダンツツジ (当山にて・5月12日撮影)

今月法語カレンダーのことば

自力の御はからいにては
 真実の報土へ生るべからざるなり

行者ひとりひとりが出会った教えにしたがい、
 いろんな仏さまの名を称えたり、さまざまな善
 行を積み重ね、それらの修行に励んだという自
 分自身を頼りとし、自分の善悪の判断にもとづ
 いて、つねに身のふるまいを正し、言葉遣いに
 気をつけ、心が乱れたらそれを取り繕い、立派
 にするように心がける。そして、このような生
 き方をしている自分であればきっと往生できる
 だろうと期待することを「自力」という、と親
 鸞聖人はいわれています。ところがこの後に、
 「自力の御はからひにては真実の報土へ生るべ
 からざるものなり」と、自力による往生を否定
 されています。

阿彌陀さまの(四十八の)お誓いの中で、
 「あらゆる行を選び捨て、ただ念仏一行を選び
 取って往生決定の行とする」と誓われた第十八
 願(念仏往生の願)を、疑いなく聞き入れて喜

ぶことを「他力」という、といわれています。
 阿彌陀さまは、平等の慈悲の心をもって深く考
 えぬかれ、戒律や禅定、造像、起塔などは、限
 られた人しか救われない難しい行であるから選
 び捨てられ、もっとも行じやすくてもちやすい
 称名念仏一行こそが、すべての人びとを救い
 とることのできる方法であるとして本願をおこ
 されたのである、といわれるのです。

聖人は「すべての人びとを救おうと願い立た
 れ、今その願いのとおりに、すべての人びとを
 救いつつある阿彌陀さまの救済力」のことを、
 「他力」といわれ、自分のはからいをもって往
 生を願うことを「自力」といわれました。お浄
 土は、私が願って行く世界ではなく、阿彌陀さ
 まに願われ招かれて行く世界だったのです。

(本願寺出版社刊「大乘」誌掲載
 『月々のことば』より抜粋 転載)

仏事お休みのお知らせ

下記の日は緊急を除き、仏事は行い
 ません。ご協力をお願いします。

- ◎ 6 月
 14日(木) 午前中
 23日(土) ~ 24日(日)
- ◎ 7 月
 12日(木) 午後
 22日(日) 終日
- ◎ 8 月
 15日(水) 終日
- ◎ 9 月
 23日(日) 終日

5月、次の金光寺門信徒の方がご往生
 なさいました。謹んでお悔やみ申し上げ
 ます。

2018年	5月	4日	満子様	61歳
下川	椎葉	安	様	
2018年	5月	5日	満86歳	
道の上	渡邊	マツエ	様	
2018年	5月	6日	満92歳	
揚	興	栢	唯夫	様

ホームページ開いています。
 URL <http://konkouji.jp/>
 6月6日現在 アクセス数 81,941人

会き傍の暦あ一関ない度のうが昨行阪いごまが業ま状し毛口腕の日は早
 えじか節、りあ西りがと人い五年っに。存い、はしてた虫医に木は雨く例
 るやら目還まりのま強なたう人かて中▼知ま今した治。の院翌の好が梅年、
 時の見に暦せが同しくいちこもらき学六でし回な。療数毛で日剪天続雨、
 は「れ同厄んと級たなかとと亡中ま校月した、いそを年診湿定でい入昨年
 (は会かば窓晴。う級。りも会てく学し卒一た。長よれ受前ま察ををしてり年
 任職)つも「会れ鞍一生計、しう機な、た業日ら効袖う以けにけをがしたましより
 松井卓郎)きし鞍を、岡のには画今れチ会り高。生か教果でに来た一た受けたとでがし
 すまのわ稀方とたてのいん逃しの同一てならた袖と同のた発こ、たず
 せ者れや々言だく遠とスせた同の窓泊く対れのが様こ、生ろ境三。い
 ねんは喜はしたれ出のはば。級。の会でだ策てでのあのこ、内日今
 が、好。寿還かだたに思二こそ生、で大きをしす作り症で、山左地の週

仏教用語豆辞典

蓮 華

「国際花と緑の博覧会」が、
 大阪鶴見緑地を会場に開催さ
 れ、世界の花が一堂に集まり、
 人気を博しました。蓮華とい
 ても

「蓮華」でしよう。
 泥の中に生れながら、清
 らかな花を咲かせ、昔な
 しかもその花が泥に染まら
 ないこと、インドでは、昔
 から珍重されてきました。
 仏教でも、仏や菩薩、仏法
 や純粋な信心などの例えとな
 っています。仏や菩薩の多く
 は蓮華を座とし、これを蓮華
 とか蓮台といひます。
 また、浄土に咲く花として、
 仏典にはしばしば登場します。
 仏典の蓮華は、蓮と睡蓮の
 総称で四種類あります。
 ウトバラ睡蓮で青蓮華と
 訳し、色は青、赤、白

パドマ蓮で紅蓮華と訳し、
 色は赤、白
 クムダ赤白または赤青の
 睡蓮
 プンダリーカ分陀利華、
 白蓮華と訳します。「正信偈」
 に「是人分陀利華」とあり
 ますね。
 が好きですか。あなたはどんなお花

(本願寺出版社発行
 辻本順著
 「仏教用語豆辞典」一〇〇
 PARTII から)

任職ひとりごと